

特殊セメント系繊維補強
断面修復ポリマーセメントモルタル

TJ Attack モルタル MU-200

薄塗りタイプ

用途

- ①排水処理施設等のコンクリート劣化部補修
- ②水路・隧道コンクリート・配水池等の劣化部補修
- ③海水浸食など塩害被災構造物の補修
- ④建築構造物の劣化部補修

特長

- ①早強性に優れ、高い耐久性を示します。
- ②硬化物は密実で耐久性に優れます。
- ③硬化後ひび割れが発生しません。
- ④垂直面で3～10mmの塗り付けが1回のかて塗り作業で行えます。

使用方法

- ①施工するコンクリート面は健全な部分まで劣化コンクリートを除去します。
- ②施工するコンクリート面にプライマーとして強化液の3倍希釈液を均一に塗布します。
- ③アタックモルタルMU-200を均一に練り混ぜ、吹き付け又はかてにより所定の厚さに仕上げます。
塗り重ねを行う場合には、塗り重ね面をくし目ごて等で目粗しして塗り重ねてください。
- ④コテ仕上げ後の養生は急激な乾燥・凍結・結露が無いように適切な方法で養生を行ってください。

使用上の注意事項

- ①粉体の取り扱いにはセメントに準じて行ってください。
- ②破袋または開封後、放置した製品は使用しないでください。
- ③練り混ぜ水には上水道水を使用してください。
- ④製品の保管は、5 以上 35 以下の室内としてください。
取り扱いに関する詳細な注意事項は、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

荷姿



- 粉体………20kg/防湿袋入り
- 強化液………18kg 缶入り

標準仕様

1袋当たりの標準練り上がり量				標準施工厚さ		1m ³ 当たりの標準配合		
粉体 (kg)	水 (kg)	強化液 (kg)	練り上がり量 (ℓ)	1回当たりの施工厚さ (mm)	1袋 (調合物) 当たりの施工面積 (m ²)	粉体 (kg)	水 (kg)	強化液 (kg)
20	2.67	1.33	約 12.6	3 ~ 10	5mm 厚: 約 2.6	1,600 (80 袋)	214	106 (5.9 缶)

アタックモルタル MU-200 の物性値

項 目		試験値	試験方法	
軟度変化	直後 (mm)	154	JIS A 6916 規格値: ±15%	
	軟度変化 (%)	1.0		
単位容積質量 (kg/ℓ)		1.90	JIS A 1171	
曲げ強さ (N/mm ²)	材齢 1 日	6.1	JIS R 5201 (気中養生)	
	材齢 7 日	7.3		
	材齢 28 日	10.2		
圧縮強さ (N/mm ²)	材齢 1 日	26	JIS R 5201 (気中養生)	
	材齢 7 日	44		
	材齢 28 日	53		
付着強さ (N/mm ²)	乾燥面	材齢 7 日	1.7	JIS A 6916
		材齢 14 日	1.8	
		材齢 28 日	2.1	
	湿潤面	材齢 7 日	1.5	JIS A 6916
		材齢 14 日	1.8	
		材齢 28 日	2.3	
吸水量 (g)		0.7	JIS A 6916	
耐久性 (付着強さ (MPa))		2.5	JIS A 6916	
耐ひび割れ性		異常なし	JIS A 6916	
耐衝撃性		異常なし	JIS A 6916	

テクノスジャパン株式会社

■本 社 / 〒673-0028 兵庫県明石市硯町 3 丁目 4 番 7 号

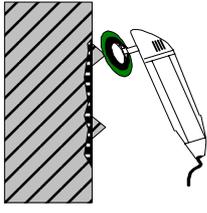
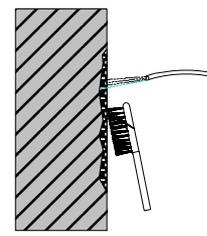
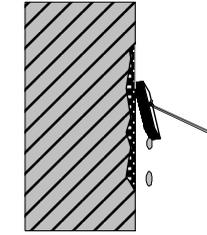
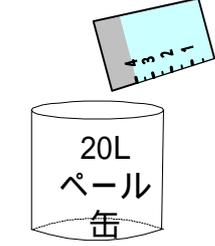
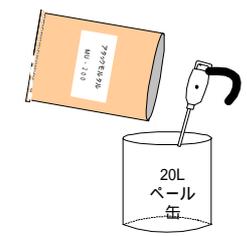
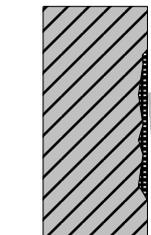
TEL (078) 924-1234 (代) FAX (078) 924-0050

■東京支店 / 〒130-0012 東京都墨田区太平 3 丁目 11 番 10 号

TEL (03) 3623-4433 (代) FAX (03) 5608-3812

<http://www.technosjapan.com>

●ここに記載された事項は、標準的な試験方法に準拠した弊社の実験データに基づくものでありますが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。●万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本製品をご使用いただく場合には、ご使用側にて調査検討下さいませようお願い致します。

豆板補修(コテしごきの場合)		使用材料 : T J アタックモルタルMU - 200 粉体 T J アタックモルタルMU - 200 強化液	
必要工具 グライNDER (100V) ワイヤーブラシ 左官刷毛 ポリバケツ 計量カップ ハンドミキサー 			
突起物除去		突起物をグラインダーで除去して下さい。	突起物を滑らかになるようにして下さい。
水洗・清掃		ワイヤーブラシで脆弱部を落としながら水洗して下さい。	脆弱層や浮石を残さないようにして下さい。
強化液の希釈		ポリバケツにアタックモルタルMU - 200強化液を全量入れ、空になった強化液容器に水道水を2杯分を入れて軽く攪拌して下さい。	希釈倍率は必ず守って下さい。
プライマー塗布		希釈された強化液(プライマー)を左官刷毛等でムラなく塗布して下さい。	吸い込みが激しい場合は、表面が濡れ色になる程度まで塗って下さい。
練り混ぜ液の計量		希釈液を計量容器で4リットル計量し、丸缶(ペール缶)に入れて下さい。	水量が少ない場合は、硬くて塗り難くなりますので、練り混ぜ時液量調整をして下さい。
練り混ぜ		で希釈液を入れたペール缶に、アタックモルタルMU-200の約3分の2を入れ、ハンドミキサーで攪拌し、全体が混ざったら残りを投入し、全体が均一になるまで、ハンドミキサーで攪拌して下さい。	練りムラができないようにして下さい。 封を切った材料は、湿気の少ない場所に保管して下さい。(約3ヶ月保存可能)
しごき塗り		で塗ったプライマーが手に付かないなくなれば、で練り混ぜたアタックモルタルMU-200を、角コテですり込むようにしごき塗りをし、直に mm程度の厚さで塗りつけて下さい。	薄い乾燥アウト(低強度)になることがあります。

コールドジョイント補修(しごきの場合)		使用材料： アタックモルタルMU-200粉体 アタックモルタルMU-200強化液	
必要工具			
突起物除去		突起物をグラインダーで除去して下さい。	突起物を滑らかになるようにして下さい。
水洗・清掃		ワイヤーブラシで脆弱部を落としながら水洗して下さい。	脆弱層や浮石を残さないようにして下さい。
強化液の希釈		ポリバケツにアタックモルタルMU-200強化液を全量入れ、空になった強化液容器に水道水を2杯分を入れて軽く攪拌して下さい。	希釈倍率は必ず守って下さい。
プライマー塗布		希釈された強化液(プライマー)を左官刷毛等でムラなく塗布して下さい。	吸い込みが激しい場合は、表面が濡れ色になる程度まで塗って下さい。
練り混ぜ液の計量		希釈液を計量容器で4リットル計量し、丸缶(パール缶)に入れて下さい。	水量が少ない場合は、硬くて塗り難くなりますので、練り混ぜ時液量調整をして下さい。
練り混ぜ		で希釈液を入れたパール缶に、アタックモルタルMU-200の約3分の2を入れ、ハンドミキサーで攪拌し、全体が混ざったら残りを投入し、全体が均一になるまで、ハンドミキサーで攪拌して下さい。	練りムラができないようにして下さい。 封を切った材料は、湿気の少ない場所に保管して下さい。(約3ヶ月保存可能)
しごき塗り		で塗ったプライマーが手に付かないなくなれば、で練り混ぜたアタックモルタルMU-200を、角コテですり込むようにしごき塗りをし、直に mm程度の厚さだ塗りつけて下さい。	薄いとドライアウト(低強度)になることがあります。

水アバタ補修

使用材料：
 アタックモルタルMU-200粉体
 アタックモルタルMU-200強化液

必要工具

